

一般国道107号 大石トンネル（西和賀町）
（令和7年11月30日開通）

いわての道路

令和8年度版



一般国道282号 佐比内トンネル（八幡平市）貫通式
（令和7年4月22日貫通）



道の駅だいとう（一関市）記念式典
（令和7年4月17日オープン）



1. 岩手県の概要と道路現況

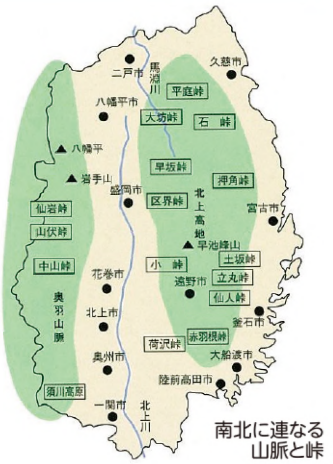
(1) 位置と地勢

本県は本州の北東部に位置し、東西約122キロメートル、南北約189キロメートルと南北に長い楕円の形をしており、その広さは北海道に次ぐ面積であり、日本全体の4%を占めています。

内陸部の大部分は山岳丘陵地帯で占められ、西部には秋田県との県境に奥羽山脈があり、これと平行して東部には北上高地が広がっています。この二つの山系の間を北上川が南に流れ、その流域に平野が広がっています。これらの山脈を越えるために、峠道が作られ、そこから東西の交流が始まりました。

沿岸部は、宮古市より北では、典型的な隆起海岸で、海食崖や海岸段丘が発達しています。

一方、宮古市より南側は北上高地の裾野が沈水してできた、日本における代表的なリアス式海岸で、対照的な景観をみせています。



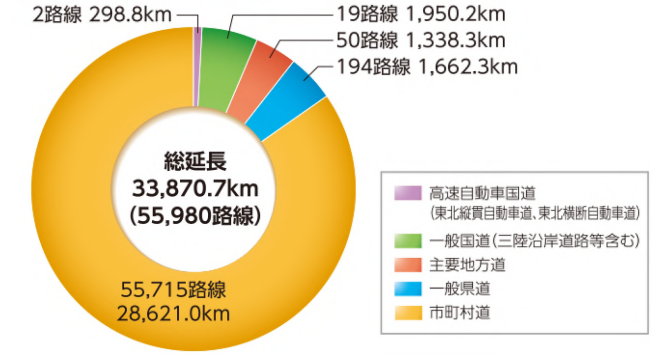
(2) 統計で見る岩手県のすがた

項目	単位	調査時	岩手県	全国	資料出所
総面積	km²	R7.7.1	15,275	377,980	国土地理院「令和7年全国都道府県市区町村別面積調」
総人口	千人	R2.10.1	1,211	126,146	総務省「R2年国勢調査」
人口密度	人/km²	R2.10.1	79.2	338.2	
道路実延長	千km	R5.3.31	34	1,231	国土交通省「道路統計年報2024」※国・都道府県・市町村道

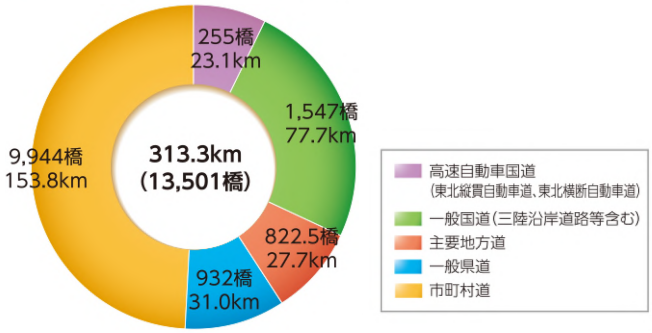
(3) 岩手県の道路現況

出典：
岩手の道路現況(令和5年4月1日時点)
道路統計年報2024(令和5年3月31日時点)

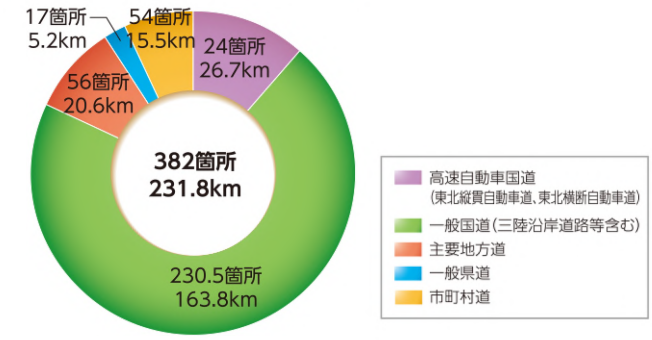
岩手県の道路の内訳



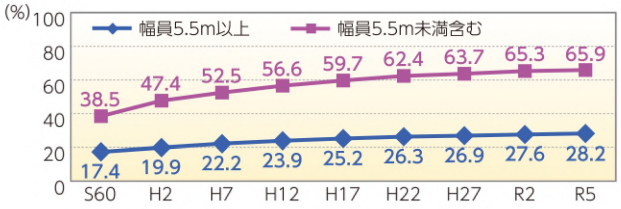
岩手県の橋梁延長の内訳



岩手県のトンネル延長の内訳



道路改良率の推移(国道、都道府県道、市町村道)



岩手県の管理延長

路線

道路種別	路線数	実延長(km)
一般国道	16	1,237.0
主要地方道	49	1,328.5
一般県道	189	1,642.5
計	254	4,208.1

※延長は橋梁・トンネルを含む

橋梁

道路種別	橋梁箇所数	延長(km)
一般国道	987.0	38.1
主要地方道	815.5	27.6
一般県道	925.0	30.9
計	2,727.5	96.6

※他県とまたがる橋梁は0.5箇所として計上

トンネル

道路種別	トンネル箇所数	延長(km)
一般国道	118.5	73.1
主要地方道	56.0	20.6
一般県道	17.0	5.2
計	191.5	98.9

※他県とまたがるトンネルは0.5箇所として計上

(4) 岩手県の道路構造物ランキング ※県管理施設

橋梁延長トップ10

順位	橋梁名	延　長	路　線	市町村	建設年次
1	藤橋	705m	一般国道343号	奥州市	昭和48年
2	柵の瀬橋	693m	主要地方道一関北上線	一関市	平成30年
3	繋大橋	629m	一般県道繋温泉線	盛岡市～雫石町	昭和55年
4	高舘橋	624m	一般県道相川平泉線	平泉町	平成13年
5	新小谷木橋	597m	一般国道397号	奥州市	令和3年
6	江崎大橋	586m	一般県道広瀬三ヶ尻線	奥州市～金ケ崎町	昭和57年
7	九年大橋	530m	一般県道相去飯豊線	北上市	平成9年
8	桜木橋	520m	主要地方道水沢米里線	奥州市	平成元年
9	平成大橋	517m	主要地方道北上東和線	北上市	平成27年
10	赤生津橋	514m	一般県道長坂東稲前沢線	奥州市	昭和33年



一般国道343号　藤橋(奥州市)
(昭和48年建設)

長寿橋梁トップ10

順位	橋梁名	経過年数	路　線	市町村	建設年次
1	四日町橋	98年	一般国道456号	一関市	昭和2年
2	明寿橋	95年	主要地方道八戸大野線	洋野町	昭和5年
3	明治橋	93年	一般県道不動盛岡線	盛岡市	昭和7年
3	万代橋	93年	一般県道二戸一戸線	一戸町	昭和7年
5	再巡橋	91年	一般県道西根佐倉河線	金ケ崎町～奥州市	昭和9年
6	長内橋	90年	一般国道281号	久慈市	昭和10年
7	荒瀬橋	89年	一般県道二戸一戸線	二戸市	昭和11年
8	台川橋	87年	一般県道花巻停車場花巻温泉郷線	花巻市	昭和13年
9	上中田橋/下中田橋	84年	一般国道342号	一関市	昭和16年
9	夏屋橋	84年	一般県道川内停車場線	宮古市	昭和16年

※橋長15m以上の橋梁を対象(経過年数は2025年)時点
※歩道橋は対象外



一般国道456号　四日町橋(一関市)
(昭和2年建設)

トンネル延長トップ10

順位	トンネル名	延　長	路　線	市町村	建設年次
1	新区界トンネル	4,998m	一般国道106号(宮古盛岡横断道路)	宮古市～盛岡市	令和2年
2	平津戸トンネル	3,159m	一般国道106号(宮古盛岡横断道路)	宮古市	令和2年
3	早坂トンネル	3,115m	一般国道455号	盛岡市～岩泉町	平成19年
4	押角トンネル	3,094m	一般国道340号	宮古市～岩泉町	令和2年
5	手代森トンネル	2,625m	一般国道106号(宮古盛岡横断道路)	盛岡市	令和元年
6	仙人トンネル	2,500m	一般国道283号	釜石市～遠野市	昭和34年
7	古田トンネル	2,050m	一般国道106号(宮古盛岡横断道路)	宮古市	令和元年
8	南昌第一トンネル	2,005m	一般県道矢巾西安庭線	矢巾町～雫石町	平成4年
9	赤羽根トンネル	1,998m	一般国道340号	住田町～遠野市	平成4年
10	ひきめトンネル	1,885m	一般国道106号(宮古盛岡横断道路)	宮古市	令和2年



一般国道106号(宮古盛岡横断道路)　新区界トンネル
(宮古市～盛岡市)
(令和2年建設)

2. 高規格道路の概要

高規格道路の概要

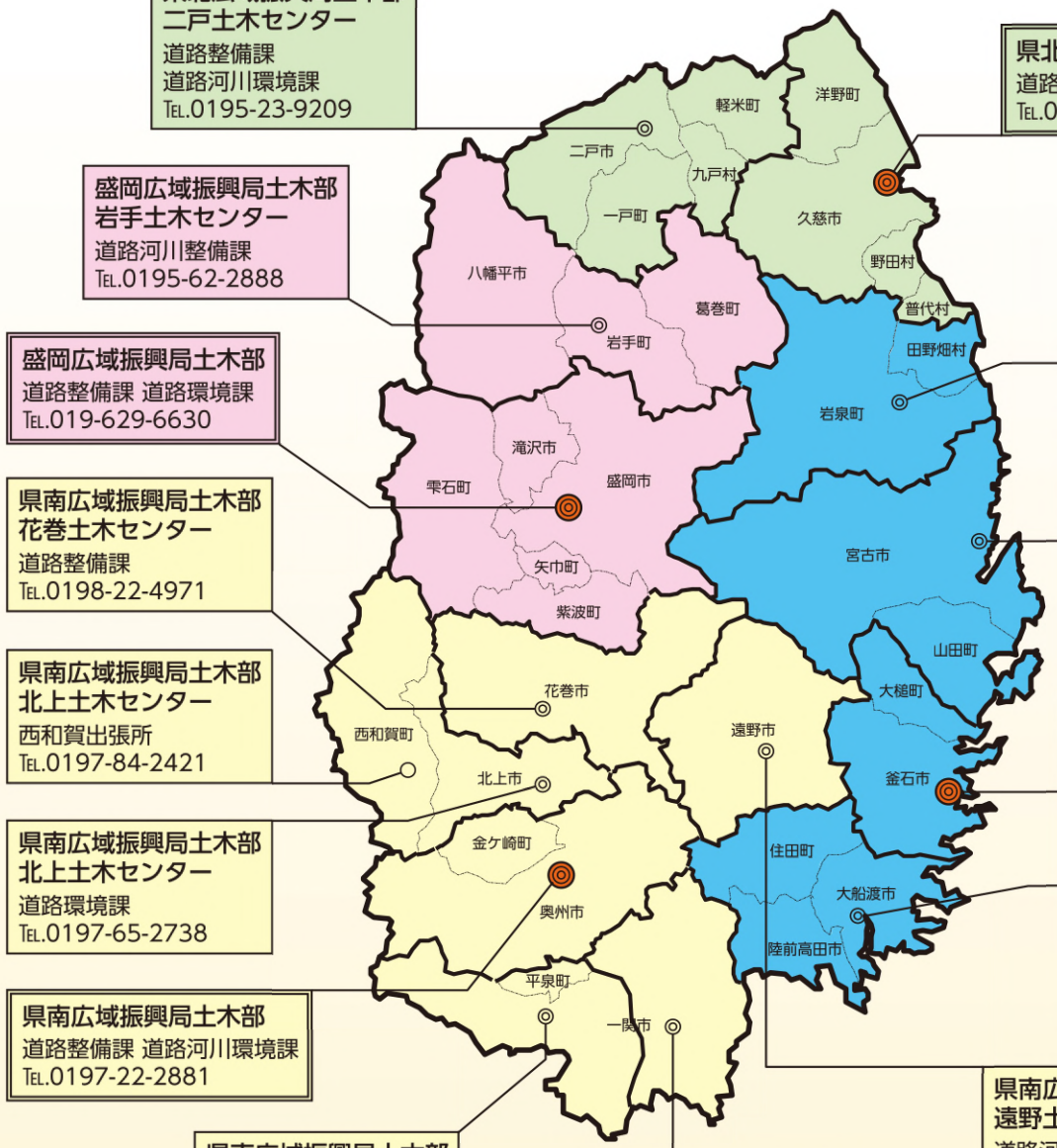
令和8年4月1日現在

(km)

路線名	区間	計画延長				
			供用済		事業中	調査中
		a	b	b/a(%)	c	d
東北縦貫自動車道弘前線	一関市～八幡平市	167	167	100	0	0
東北縦貫自動車道八戸線	八幡平市～軽米町	54	54	100	0	0
東北横断自動車道釜石秋田線	釜石市～西和賀町	112	112	100	0	0
三陸沿岸道路	洋野町～陸前高田市	213	213	100	0	0
宮古盛岡横断道路	宮古市～盛岡市	83	53	64	17	13
盛岡秋田道路	盛岡市～雫石町	30	1	3	0	29

※東北縦貫自動車道八戸線と東北横断自動車道釜石秋田線の延長は、東北縦貫自動車道弘前線との重用延長を除いた数値

3. 県管理道路の問合せ先



県北広域振興局土木部
二戸土木センター
道路整備課
道路河川環境課
TEL.0195-23-9209

県北広域振興局土木部
道路整備課
TEL.0194-53-4990

盛岡広域振興局土木部
岩手土木センター
道路河川整備課
TEL.0195-62-2888

沿岸広域振興局土木部
岩泉土木センター
道路整備課
TEL.0194-22-3116

盛岡広域振興局土木部
道路整備課 道路環境課
TEL.019-629-6630

沿岸広域振興局土木部
宮古土木センター
道路整備課
TEL.0193-64-2221

県南広域振興局土木部
花巻土木センター
道路整備課
TEL.0198-22-4971

県南広域振興局土木部
北上土木センター
西和賀出張所
TEL.0197-84-2421

沿岸広域振興局土木部
道路整備課
TEL.0193-25-2708

県南広域振興局土木部
北上土木センター
道路環境課
TEL.0197-65-2738

沿岸広域振興局土木部
大船渡土木センター
道路整備課
TEL.0192-27-9919

県南広域振興局土木部
道路整備課 道路河川環境課
TEL.0197-22-2881

県南広域振興局土木部
遠野土木センター
道路河川整備課
TEL.0198-62-9938

県南広域振興局土木部
一関土木センター
道路整備課
道路河川環境課
TEL.0191-26-1418

県南広域振興局土木部
千厩土木センター
道路河川環境課
TEL.0191-52-4971

岩手県道路情報提供サービス

県内の主要道路に設置されたカメラ映像や通行規制情報などを提供しています。

アクセスはこちらから

PC https://www.douro.com/

スマートフォン https://www.douro.com/sp/



いわての道路 令和8年度版（令和8年4月発行）

編集・発行：岩手県 県土整備部 道路建設課・道路環境課
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号
TEL ：019-629-5866（道路建設課）/ TEL ：019-629-5878（道路環境課）
FAX ：019-629-9124

岩手県ホームページ
https://www.pref.iwate.jp/

4. いわて県民計画(2019~2028) ~政策推進の基本方向~

いわて県民計画(2019~2028)の政策分野

「健康・余暇」、「家族・子育て」、「教育」、「居住環境・コミュニティ」、「安全」、「仕事・収入」、「歴史・文化」、「自然環境」と、これらの分野を下支えする共通的土台としての**「社会基盤」**、「参画」を加えた10の政策分野を設定しています。

Ⅰ 健康・余暇	Ⅱ 家族・子育て	Ⅲ 教育	Ⅳ 居住環境・コミュニティ	Ⅴ 安全	Ⅵ 仕事・収入	Ⅶ 歴史・文化	Ⅷ 自然環境

Ⅸ 社会基盤

Ⅹ 参　画

社会基盤　防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤や環境が整っている岩手

以下の3つの政策項目について様々な計画・施策を展開していきます。

安全・安心を支える社会資本を整備します

安全・安心

災害に強い道路ネットワークを構築するため、県土の縦軸・横軸となる幹線道路の整備、緊急輸送道路や代替機能を有する路線の防災機能の強化などを推進します。

日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急医療機関へのアクセス向上など地域の実情に応じた道路整備や冬期間の交通安全対策、通学路の安全確保のための歩道の整備などを推進します。

産業や観光振興の基盤となる社会資本を整備します

産業・観光

物流の効率化など生産性の向上を図るため、内陸部と港湾を結ぶ道路、工業団地やインターチェンジへのアクセス道路の整備を推進します。

観光の振興を図るため、都市間や主要な観光地を結ぶ道路の整備を推進します。

生活を支える社会資本を良好に維持管理し、次世代に引き継ぎます

維持管理

社会資本が将来にわたって機能を発揮し続けるため、計画的な修繕を行う「予防保全型維持管理」などにより、適切な維持管理等を実施します。

「いわて県民計画(2019~2028)」を踏まえた道路に関する主な計画

- **岩手県 新広域道路交通計画**
- **岩手県 道路橋長寿命化修繕計画**
- **岩手県 自転車活用推進計画**

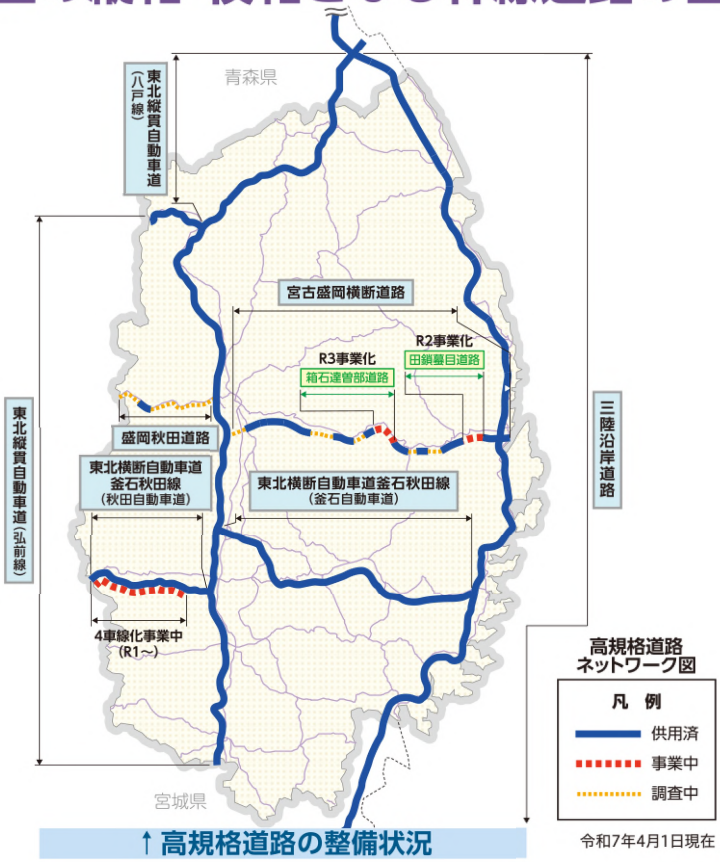
5. 政策項目ごとの道路事業の取組

政策分野 IX（社会基盤）　安全・安心を支える社会資本を整備します。

安全・安心

災害に強い道路ネットワークを構築するため

県土の縦軸・横軸となる幹線道路の整備の推進



↑高規格道路の整備状況

令和7年4月1日現在



箱石達曽部道路に並行する国道106号で発生した道路流出
（平成28年8月　台風第10号）

宮古盛岡横断道路の整備により、災害に強い道路ネットワークを構築します。



秋田自動車道に並行する国道107号で発生した
スタック車両による滞留状況（令和2年12月）

秋田自動車道の4車線化により、道路ネットワークの信頼性の向上を図ります。

緊急輸送道路や代替機能を有する路線の防災機能の強化の推進

緊急輸送道路は、地震等発災後の緊急輸送を円滑かつ確実に実施するために必要な道路として、**地震防災対策特別措置法で位置付けられている路線**です。

こうした緊急輸送道路等のあい路や急カーブ、急こう配などの通行危険箇所の解消、橋梁の耐震化や道路防災施設の整備に取り組みます。

道路防災施設

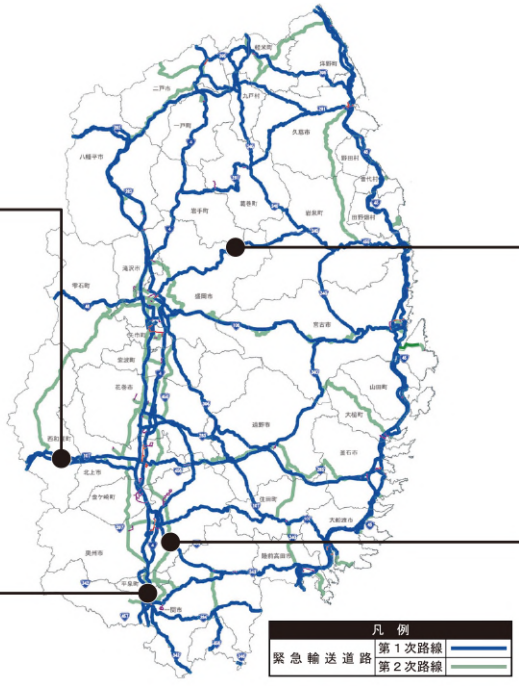


国道107号　川尻（西和賀町）

橋梁の耐震補強



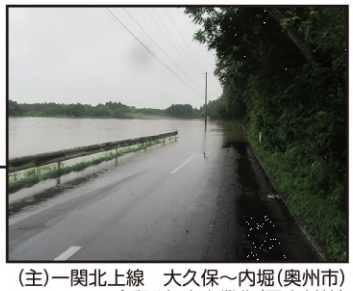
（主）一関北上線　中里橋（一関市）



道路改良による防災対策



国道455号　軽町（盛岡市）
令和7年度事業化（あい路解消）



（主）一関北上線　大久保～内堀（奥州市）
令和4年度事業化（冠水対策）

日常生活を支える安全・安心なみちづくりのため

救急医療機関へのアクセス向上の推進

救急医療や地域医療を支援するため、
救急搬送ルートの整備を推進します。



国道107号　白石峠工区(大船渡市～住田町)
令和4年度事業化(県立大船渡病院へのアクセス向上)



国道281号　案内～戸呂町口工区(久慈市)
令和2年度事業化(県立久慈病院へのアクセス向上)



凡　例			
第三次救急医療施設		高規格道路	供用済 / 事業中
		一般国道	
第二次救急医療施設 (病院群輪番制 参加病院)		主要地方道	
		一般県道	

岩手県
救急医療体制
(第二次、第三次)

通学路の安全確保のための歩道の整備の推進

歩行者の安全な通行を確保するため、通学路等への歩道設置や交通安全施設等の整備に取り組みます。

①通学路の交通安全対策



(一)岩明岩谷堂線　藤里工区(奥州市)
歩道整備

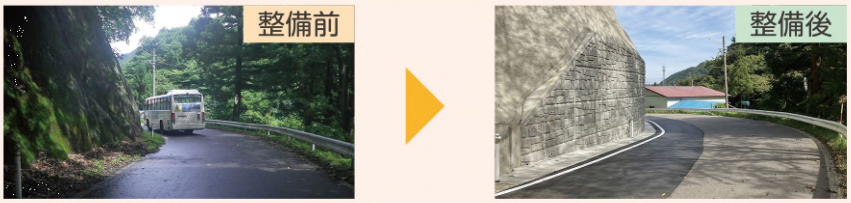
②R3通学路合同点検に係る交通安全対策



(主)上米内湯沢線　米内小学校前(盛岡市)
車止めの設置

地域の実情に応じた道路整備の推進

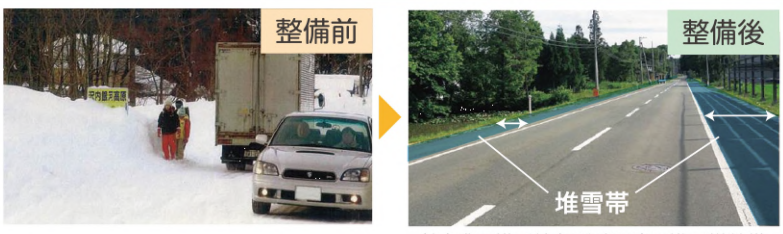
車両のすれ違い困難等により支障が生じている路線において、通行の安全性を確保するため、待避所設置や路肩拡幅などを効果的に組み合わせ、地域の実情に応じた道路の整備を推進します。



(一)普代小屋瀬線　上普代工区(普代村)　令和6年12月25日　供用

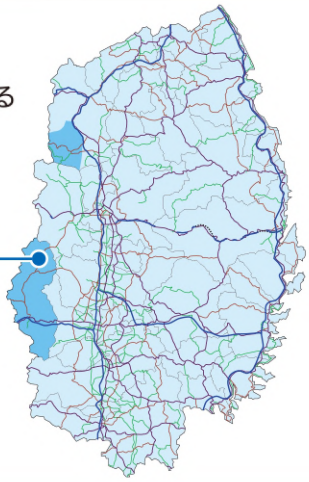
堆雪幅を確保した道路の整備

冬期間の安全で円滑な道路通行の確保を図るため、除雪を着実に実施するとともに、道路除雪に必要な堆雪幅を確保した道路整備を推進します。



(主)盛岡横手線(西和賀町)の堆雪帯整備

堆雪帯の整備により、道路除雪に必要な堆雪幅を確保



岩手県豪雪地帯
指定状況

凡　例	
特別豪雪地帯	
豪雪地帯	
高規格道路	供用済 / 事業中
一般国道	
主要地方道	
一般県道	

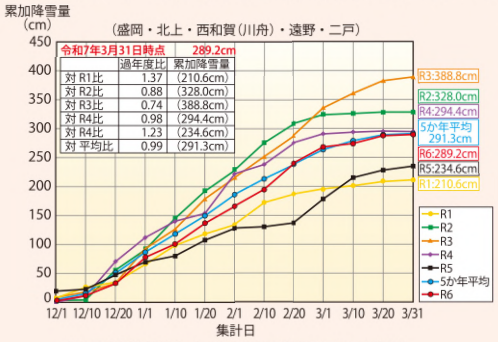
安全・安心

冬期間の安全で円滑な通行を確保するため 除雪を着実に実施

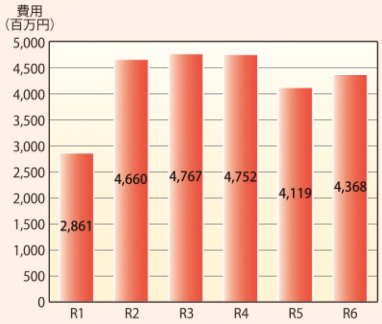
令和6年度の除雪実績・降雪量



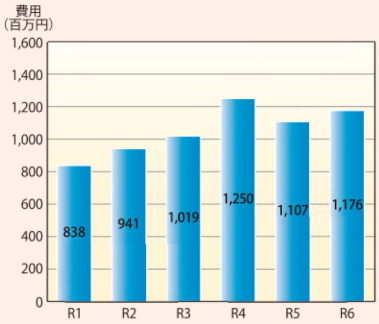
【除雪路線】
宮古盛岡横断道路及び一般道路：252路線
【除雪延長】
車道：3,867.1km　歩道：1,997.2km　凍結抑制剤散布：2,682.5km
151契約（単独契約110件、JV41件（うち16JVは地域維持型））
【除雪機械】
平常時1,151台（県有503台、民有648台）
【降雪状況】
県内指定観測5地点平均の累加降雪量：289.2cm（過去5か年平均291.3cmの0.99倍）
【除雪費用】
56億5千4百万円（除雪機械稼働台数 19,726台）



主要観測5地点の累加降雪量の推移



除雪にかかる委託費の推移



除雪にかかる需要費の推移
※需用費：燃料費や凍結抑制剤等

DXを活用した取組のご紹介

除雪DXとして、冬季通行止め区間の春先除雪において「除雪支援システム」を試験導入しています。
3次元点群データをもとに作成する3D地図を用いて、これまで経験と「勘」を頼りにしていた除雪作業の「見える」化を行い安全・確実な作業の実現に取り組んでいます。



経験と「勘」が頼りの除雪。



MMSが描く、除雪のための「高精度3次元地図」。



センチ精度で「見える」除雪！安全・確実作業。



令和7年度インフラDX大賞 受賞

除雪に関する広報活動

冬期における**地域の住民生活や経済活動を守る重要な仕事である道路除雪**について、多くの方に知っていただくために**「岩手県建設業協会青年部連絡協議会」**では令和4年11月に第1弾、令和5年5月に第2弾の**PR動画を作成し、YouTubeで公開**しています！



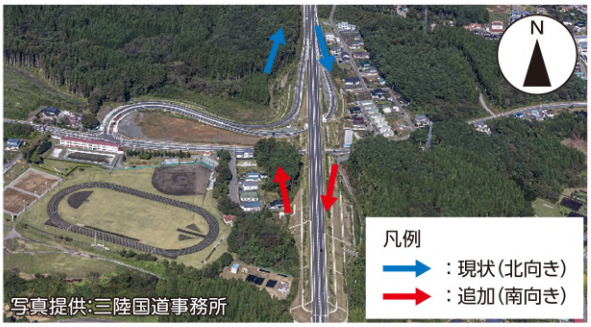
↑　第2弾『The Mission ～いつもの朝をむかえるために～』

YouTubeの動画ページ

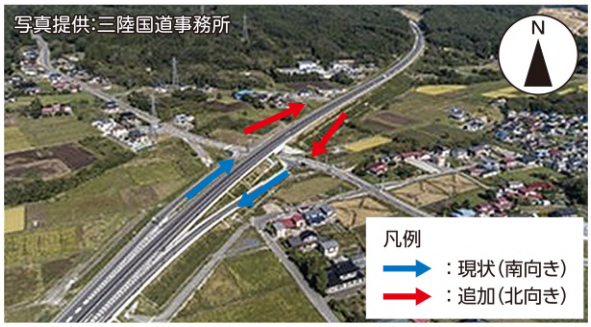
ハーフICのフルIC化による防災機能の強化

安全・安心

防災機能の強化や地域活性化を図るため、国によりICの機能強化が進められています。



洋野種市IC（令和3年度事業化）



山田北IC（令和4年度事業化）

物流・観光の基盤となるインターチェンジの整備の推進

産業・観光

スマートICの整備

スマートICとは

・ETCを搭載した車両に限定し、高速道路の本線やSA、PA、バスストップから乗り降りができるインターチェンジです。

メリット

・利用車両が限定されているため、簡易な料金所の設置で済み、低コストで導入できるなどのメリットがあります。

・地域の活性化、周辺道路の安全かつ円滑な交通の確保、ICアクセス時間の改善、災害時の一般道路区間の代替などの効果が期待されます。

（仮称）八幡平スマートIC　令和4年度事業化

安比高原を始めとした北いわて地域の観光振興、令和4年8月29日に開校したハロウインターナショナルスクール安比ジャパンへのアクセス向上などの効果が期待されます。



ハロウインターナショナルスクール安比ジャパン



安比高原

花巻PAスマートIC　令和6年3月20日開通

花巻PA周辺の工業団地などへのアクセス性の向上、円滑な救急医療活動などが期待されます。



花巻PA近隣の製造業（ｷｵｸｼｱ岩手㈱第2製造棟）

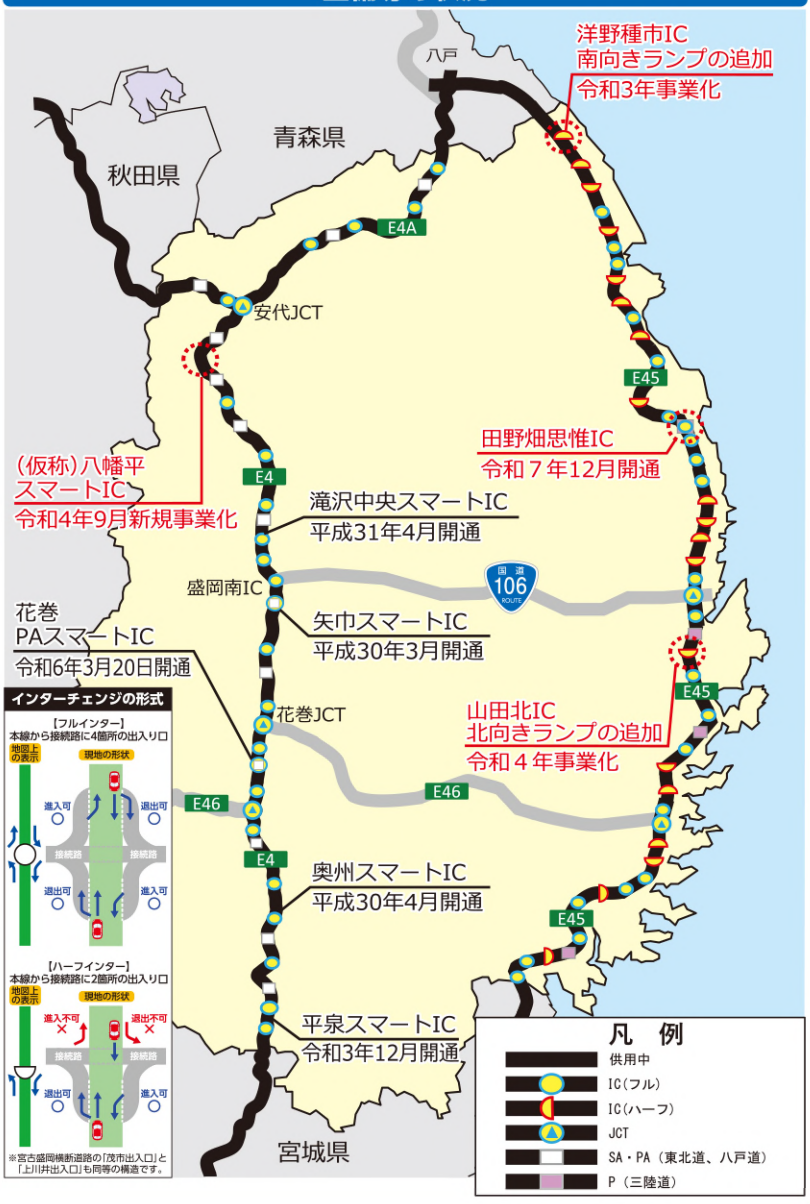
新たなICの整備

田野畑思惟IC　令和7年12月6日開通

「道の駅たのはた」へのアクセス性が向上し、地域経済の活性化に繋がることが期待されます。



整備等の状況



産業・観光

物流の効率化や生産性の向上を図るため

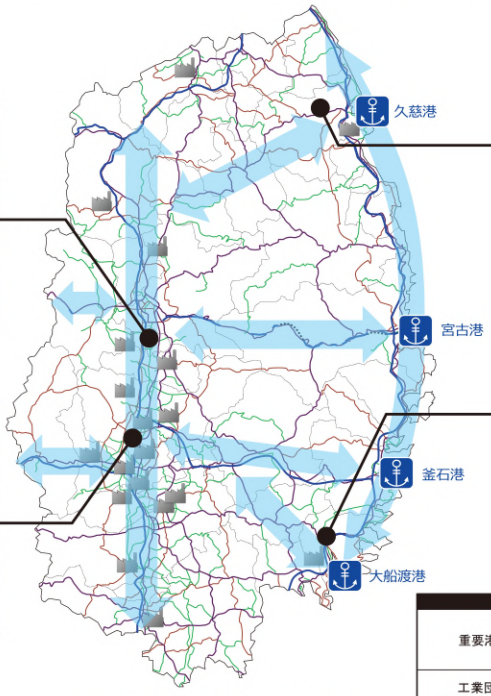
内陸部と港湾を結ぶ道路、工業団地やインターチェンジへのアクセス道路の整備の推進



東北自動車道　矢巾スマートIC(矢巾町)
平成30年3月開通



東北自動車道　花巻PAスマートIC(花巻市)
令和6年3月開通



県内の重要港湾、工業団地



国道281号　案内～戸呂町口(久慈市)
令和2年度事業化(災害リスクや線形不良の解消)



国道107号　白石峠(大船渡市～住田町)
令和4年度事業化(急勾配や線形不良の解消)

凡　例			
重要港湾		高規格道路	供用済 / 事業中
		一般国道	
工業団地（拠点工業団地又は分譲面積200千㎡以上）		主要地方道	
		一般県道	

観光の振興を図るため

都市間の主要な観光地を結ぶ道路の整備の推進

主要な観光エリアを結ぶ道路等、観光振興に資する道路の整備や道の駅の整備を推進します。



(一)二戸軽米線 新町(軽米町)
令和2年度事業化
世界遺産「御所野遺跡」へのアクセス向上



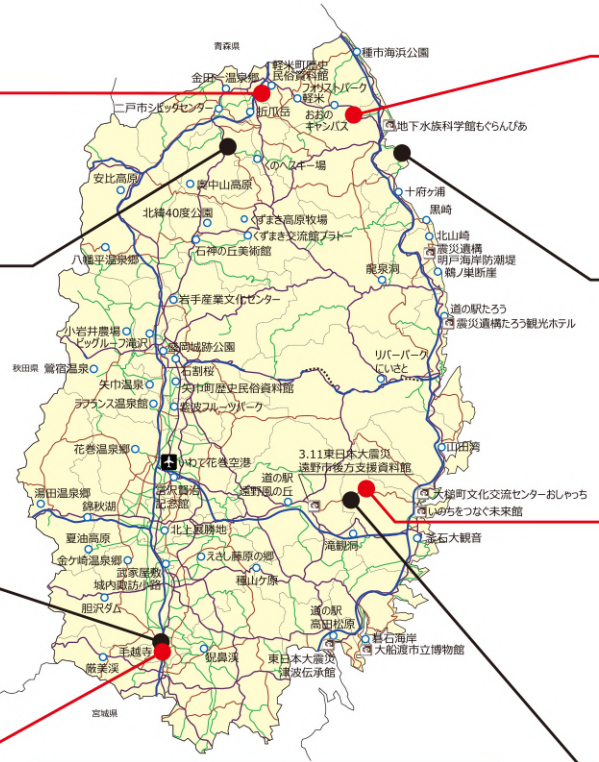
世界遺産 御所野遺跡



世界遺産 平泉(中尊寺)



東北自動車 平泉スマートIC(平泉町)
令和3年12月開通
世界遺産「平泉(中尊寺)」へのアクセス向上



凡　例			
高規格道路	供用済 / 事業中	主要地方道	
一般国道		一般県道	



国道395号 阿子木(久慈市～洋野町)
令和3年度事業化
三陸ジオパーク(小袖海岸)へのアクセス向上



三陸ジオパーク(小袖海岸)



(主)釜石遠野線 中村～青ノ木(釜石市)
令和2年度事業化
世界遺産「橋野鉄鉱山」へのアクセス向上



世界遺産 橋野鉄鉱山

維持管理

社会資本が将来にわたって機能を発揮し続けるため

計画的な修繕を行う「予防保全型維持管理」などにより、適切な維持管理の実施

社会資本が将来にわたって機能を発揮し続けるため、岩手県道路橋長寿命化修繕計画等の道路施設の「個別施設計画」に基づき、適切な維持管理に取り組みます。

道路施設の老朽化対策

定期点検の実施状況



(一)三日町瀬原線 衣川橋（平泉町）

老朽化施設の対策実施状況

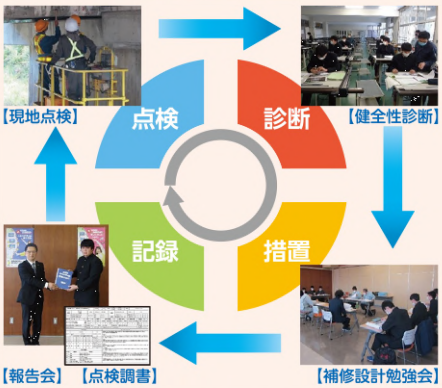


(国)107号 尻平川橋（北上市）

高校生との協働による道路インフラメンテナンスの取組

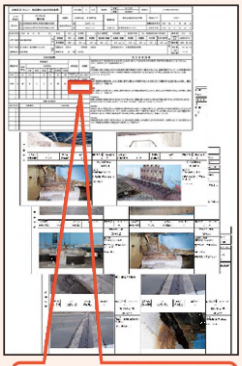
道路インフラメンテナンスの必要性や重要性の理解向上と、自ら実施した点検が県民の安全な暮らしを支えるという土木の魅力を感じてもらうことにより、土木業界の担い手の確保・育成を推進するため、令和元年度から県内の土木系学科の高校生との協働による橋梁点検に取り組んでいます。

高校生との協働による橋梁点検のサイクル



メンテナンスサイクルの流れに沿って橋梁のメンテナンスを実習形式で学習

高校生との協働による橋梁点検の成果



点検調書には携わった生徒の名前も記載され橋とともに残り続ける

高校生との協働による橋梁点検の報告会



高校生が点検結果を県に報告し成果を県政に活用

高校生との協働による橋梁点検の情報発信



国土交通省等が社会資本のメンテナンスに係る優れた取組等を表彰する**「第6回インフラメンテナンス大賞」**において、本県が取り組んでいる**「高校生との協働による道路インフラメンテナンスの取組（高校生との協働による橋梁点検）」が国土交通大臣賞を本県で初めて受賞**しました。

※**インフラメンテナンス大賞**…国土交通省等が**メンテナンス産業やインフラメンテナンスの理念の普及を図る**ことを目的に平成28年度から実施している表彰制度。第6回インフラメンテナンス大賞では195件の応募があり、有識者による選考委員会の審査を経て、本県を含む37件（大臣賞9件、特別賞7件、優秀賞21件）が受賞し、令和5年1月に東京都内で表彰式が行われました。

住民との協働による道路の草刈り

・地域の実情をよく知る住民団体の皆さまに、地域のニーズに応じた草刈りを実施していただいています。単なる道路わきの草刈りといった枠組みを超え、道路に対する美化意識の向上、住民との協働による連帯意識を育み、主体的な地域活動の広がりを期待して実施しています。

・令和7年度は、県全体で348団体に県管理道路の草刈りを実施していただきました。

実施状況



6. 岩手県新広域道路交通計画

令和３年６月、「いわて県民計画（2019～2028）」に掲げる本県の将来像を踏まえた、広域的な道路ネットワークの長期的な構想である「岩手県新広域道路交通計画」を策定しました。

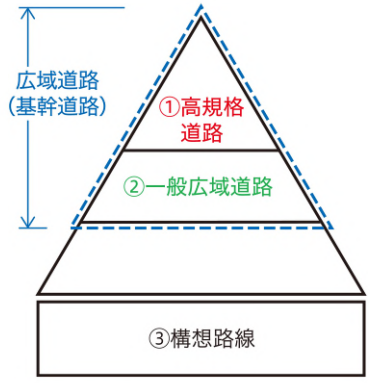
広域道路ネットワークの基本方針

○ 高規格道路を中心とした災害に強い道路ネットワークの構築

東日本大震災津波など近年の度重なる災害では、道路ネットワークが寸断され、救援救助活動や支援物資の輸送に多大な影響を与えたことから、災害に強い道路ネットワークを構築し多重性・代替性を確保する。

○ 内陸と沿岸を結ぶ道路や都市間交流を支える道路ネットワークの強化

県内の縦軸、横軸を構成する高規格道路等を基軸として、内陸と沿岸を結ぶ道路や都市間交流を支える道路などの整備を進め、道路ネットワークを強化する。



① 高規格道路

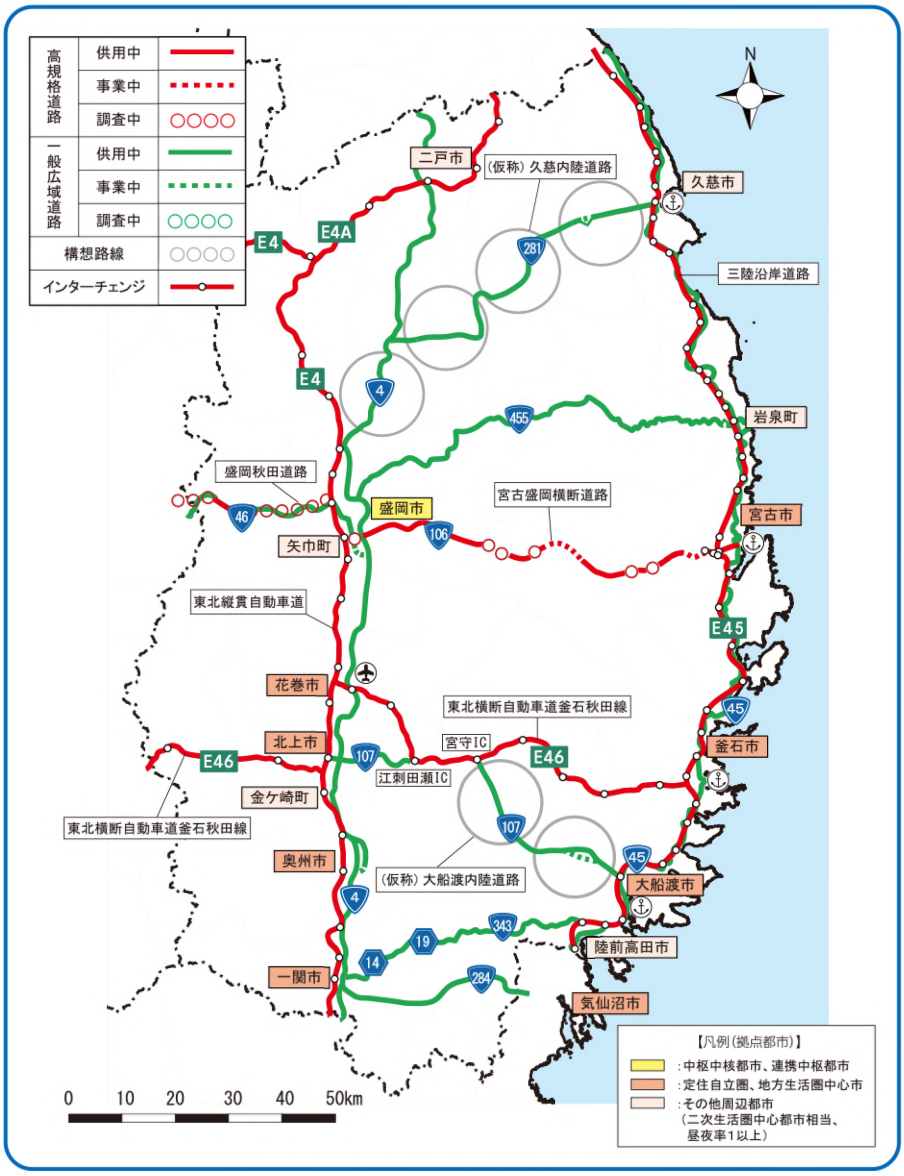
- 高規格幹線道路（約14,000km）を含め、中枢中核都市や定住自立圏などブロック都市圏間を連絡する道路。
- 求められるサービス速度が概ね60km/h以上の道路。

② 一般広域道路

- 中枢中核都市や定住自立圏中心市、その他周辺都市（二次生活圏中心市相当、昼夜率１以上）など広域交通の拠点となる都市を効率的かつ効果的に連絡する道路。
- 求められるサービス速度が概ね40km/h以上の道路。

③ 構想路線

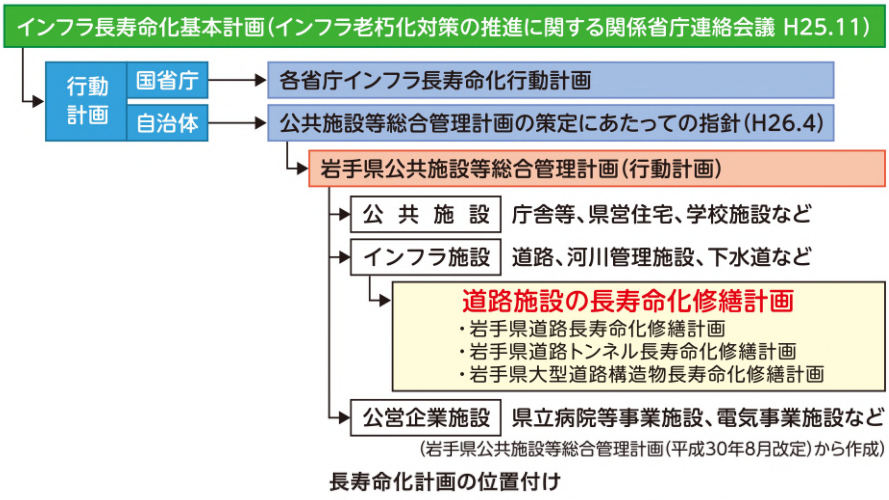
- 高規格道路としての役割が期待されるものの、起終点が決まっていない等、個別路線の調査に着手していない道路。



広域道路ネットワーク計画図

7. 道路施設の長寿命化修繕計画

道路施設の長寿命化修繕計画は、岩手県公共施設等総合管理計画における個別施設計画に位置付けられ、各施設の維持管理等に関する指針となるものです。各施設が将来にわたって機能を発揮し続けるため、長寿命化修繕計画に基づき適切な維持管理に取り組んでいきます。



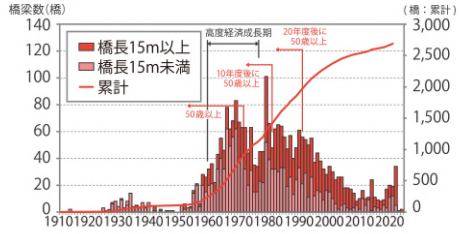
（岩手県公共施設等総合管理計画（平成30年8月改定）から作成）

長寿命化計画の位置付け

岩手県の道路橋の状況

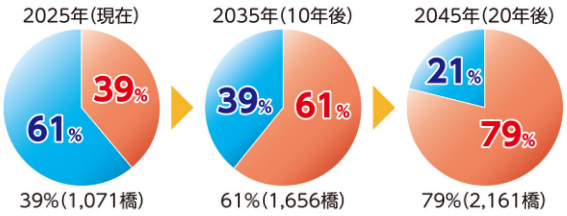
・1980年までに建設された橋が現在の半数以上を占めます。

岩手県管理の建設年度別道路橋梁数



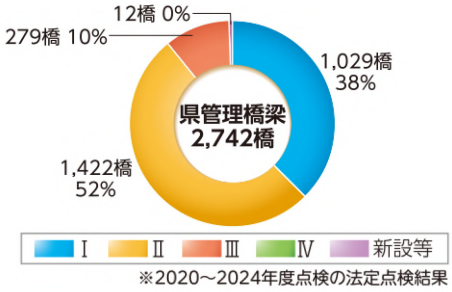
・2045年には、建設後50年を経過する橋が約8割になります。

岩手県管理道路橋　2,742橋



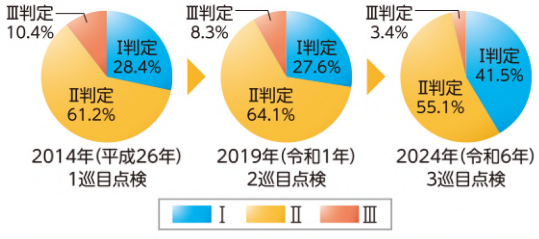
※県管理橋梁2,742橋のうち建設年次が確認できる2,721橋の内訳（令和7年3月末時点）

道路橋の健全性内訳



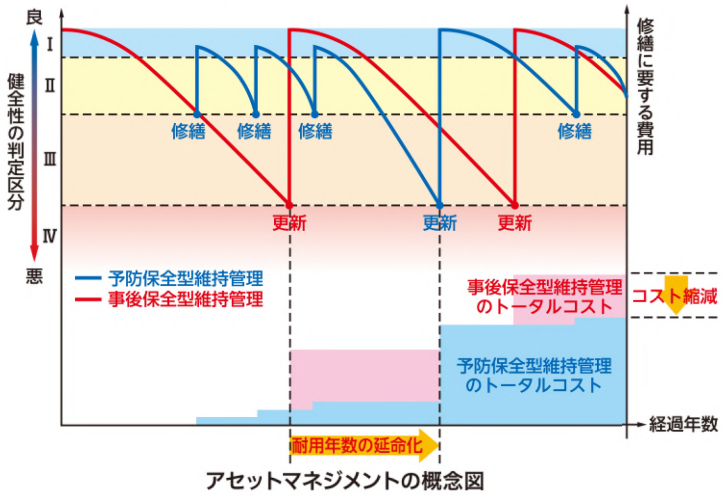
※2020～2024年度点検の法定点検結果

判定結果の推移



道路橋のアセットマネジメント

・LCC（ライフサイクルコスト）の最小化
・修繕等に要する費用の平準化



アセットマネジメントの概念図

岩手県道路橋長寿命化修繕計画における維持管理目標

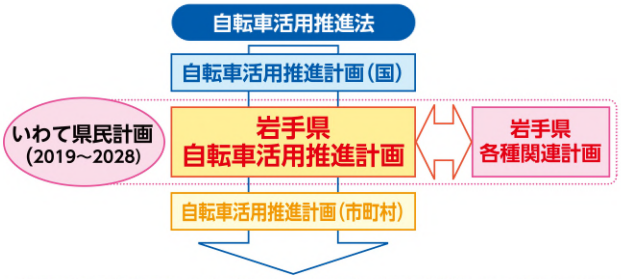
健全性の判定区分		状　態	対象となる道路橋	維持管理目標
Ⅳ	緊急措置段階	・構造物の機能に障害が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態	・全道路橋	・１年以内の対策着手（損傷状況に応じて速やかに通行規制等の応急対策を実施）
Ⅲ	早期措置段階	・構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態	・全道路橋	・５年以内（次回法定点検まで）の対策完了（架替を除く）
Ⅱ	予防保全段階	・構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	・緊急輸送道路上で耐震補強未対策の道路橋	・耐震補強と併せて必要な修繕等を実施
			・その他の道路橋	・次回の法定点検で損傷状況等を確認
Ⅰ	健　　全	・構造物の機能に支障が生じていない状態	・全道路橋	・次回の法定点検で損傷状況等を確認

8. 第2期岩手県自転車活用推進計画

本県では自転車活用推進法に基づき、令和３年３月に「岩手県自転車活用推進計画」を策定し、自転車を活用した環境負荷の低減、健康増進、観光振興等の促進に取り組んでいます。

また、令和8年3月に策定した「第2期岩手県自転車活用推進計画」では、「利用環境」、「安全安心」、「移動環境」、「健康・脱炭素」、「観光振興」の5つの取組分野を設定し、本県の実状に応じた目標を掲げるとともに、目標を実現するための9つの施策を実施します。

〇計画の期間　　令和8年度～令和12年度
〇対象の地域　　岩手県全域



Ⅰ 利用環境
【目標】自転車のネットワーク整備等による良好な環境の創出

施策1 自転車通行空間等の整備や維持管理の推進
施策2 まちづくりと連携した自転車利用環境整備の推進


自転車通行空間の整備状況(盛岡市内)


シェアサイクルの導入状況(盛岡市内)

Ⅱ 安全安心
【目標】自転車を安全に安心して利用できる社会の実現

施策3 自転車の安全利用の促進
施策4 学校における交通安全活動の推進



岩手県自転車条例ポスター


交通安全教育の実施状況



Ⅲ 移動環境
【目標】自転車交通の役割拡大による良好な移動環境の実現

施策5 他の交通機関と連携した自転車移動環境向上の推進



自転車通勤導入の手引きによる広報啓発


サイクルトレイン実証実験状況(JR花輪線)

Ⅳ 健康・脱炭素
【目標】自転車利用の促進による健康増進・脱炭素化

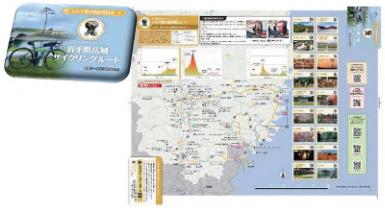
施策6 サイクルスポーツ振興の推進
施策7 自転車を活用した健康づくりの推進


自転車イベントの実施状況(サイクリングツアー2025)

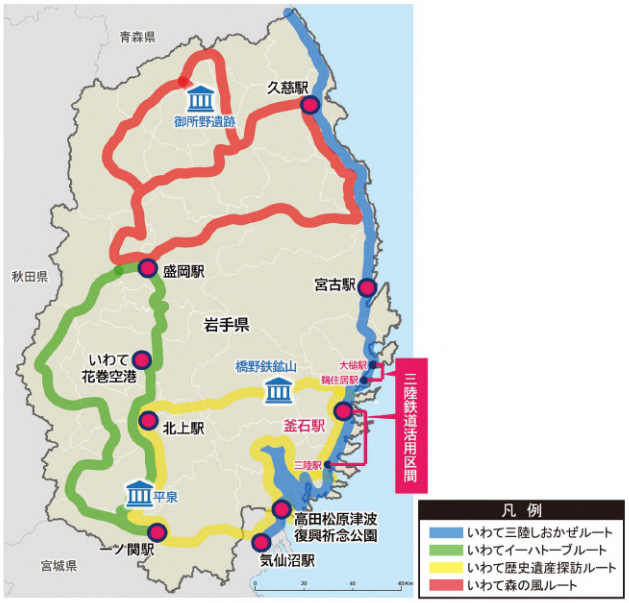
岩手県庁 道路環境課
公式Instagram

Ⅴ 観光振興
【目標】サイクルツーリズム等の推進による観光振興

施策8 地域資源を生かしたサイクルツーリズムの推進
施策9 地域特性を生かしたサイクリング環境の提供


岩手県広域サイクリングルートの
サイクリングマップ

岩手県広域サイクリングルート図



岩手県広域サイクリングルート

9. 岩手県の道の駅

「道の駅」は、次の3つの機能を併せ持つ休憩施設であり、本県には、39駅があります。

39駅のうち、「遠野風の丘」が『全国モデル「道の駅」』に、「高田松原」及び「たろう」が『重点「道の駅」』に選定されています。また、「遠野風の丘」「くずまき高原」は『防災「道の駅」』に選定されています。

道の駅 3つの機能

1 休憩機能	24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ
2 情報発信機能	道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供
3 地域の連携機能	文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

1 石鳥谷
2 高田松原（重点「道の駅」）
3 区界高原
4 おおの
5 種山ヶ原
6 いわいずみ
7 のだ
8 たろう（重点「道の駅」）
9 たのはた
10 みずさわ
11 にしね
12 白樺の里やまがた
13 みやもり
14 紫波
15 はやちね
16 やまだ
17 遠野風の丘
（全国モデル「道の駅」、防災「道の駅」）
18 さんりく
19 錦秋湖
20 くずまき高原（防災「道の駅」）
21 石神の丘
22 雫石あねっこ
23 とうわ
24 厳美渓
25 おりつめ
26 かわさき
27 やまびこ館
28 みやこ
29 三田貝分校
30 くじ
31 釜石仙人峠
32 平泉
33 むろね
34 はなまき西南
35 青の国ふだい
36 いわて北三陸
37 だいとう
38 もりおか渋民
39 ふなこし




道の駅 だいとう
（令和7年4月オープン）


道の駅 もりおか渋民
（令和7年4月オープン）


道の駅 のだ
（令和7年6月移転オープン）


道の駅ふなこし
（令和7年7月リニューアルオープン）

★★★ 全国モデル「道の駅」 17 遠野風の丘

地域活性化の拠点として、特に優れた機能を継続的に発揮している道の駅として、全国モデル「道の駅」に選定。

東日本大震災津波の際には、後方支援拠点として機能した。岩手県広域防災拠点配置計画の広域防災拠点にも位置付けられ、国の「防災道の駅」にも選定。



防災「道の駅」 20 くずまき高原

岩手県広域防災拠点配置計画の広域防災拠点に位置付けられ、災害時に広域的な復旧・復興活動の拠点となる道の駅として、防災「道の駅」に選定。



重点「道の駅」 2 高田松原

地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できる道の駅として、重点「道の駅」に選定。

高田松原津波復興祈念公園内に国営追悼・祈念施設、東日本大震災津波伝承館と共に整備され、令和元年9月に利用開始。



重点「道の駅」 8 たろう

地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できる道の駅として、重点「道の駅」に選定。

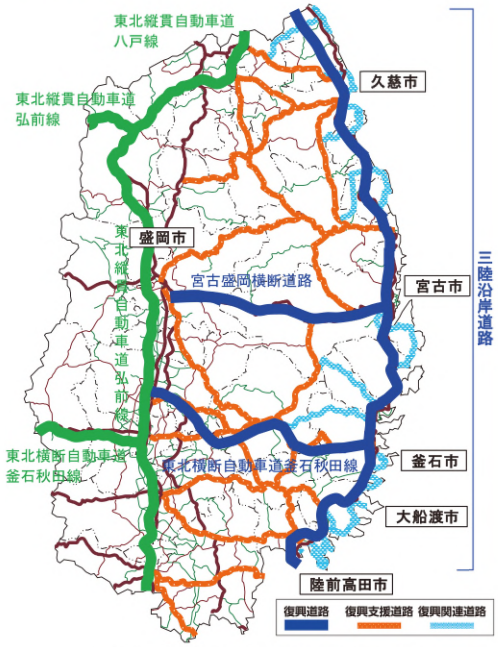
三陸沿岸道路と一体となり、漁業の復興や、田老地区の震災当時の状況などを語り継ぐ「学ぶ防災」の拠点として機能。



【コラム】東日本大震災からの復興　～復興道路～

東日本大震災からの復興のため、「岩手県東日本大震災津波復興計画（2011-2018）」、「いわて県民計画（2019-2028）」において、復興推進の基本方向復興の目指す姿に**「いのちを守り　海と大地と共に生きる　ふるさと岩手・三陸の創造」**を掲げ、安全で安心な防災都市・地域づくりによる復興を推進してきました。

このうち、道路整備については、主に国が整備を進めた**「復興道路」**に、県による**「復興支援道路」**、**「復興関連道路」**、**「まちづくり連携道路」**の整備を合わせ総延長約457kmのかつてない規模の事業が展開されました。



三陸復興道路整備事業ネットワーク図

各事業の道路整備に係る工区数、整備延長

事業主体	細事業名	整備延長
国	復興道路	270km
県	復興道路	10km（2工区）
	復興支援道路	100km（38工区）
	復興関連道路	32km（20工区）
	まちづくり連携道路	45km（32工区）
国と県の合計		457km

※事業延長は整数で端数処理した結果。



（主）大船渡綾里三陸線 赤崎工区（まちづくり連携道路）

三陸復興道路整備事業～交通ネットワーク～

復興道路

三陸沿岸地域の縦貫軸と内陸部と三陸沿岸地域を結ぶ横断軸の高規格道路整備を促進（R3.12月全線開通）

復興支援道路

内陸部から三陸沿岸各都市にアクセスする道路及び横断軸を南北に連結する道路、インターチェンジにアクセスする道路について、交通隘路の解消や防災対策、橋梁耐震化等を推進（R4.3月全線開通）

復興関連道路

三陸沿岸地域の防災拠点や医療拠点へアクセスする道路及び水産業の復興を支援する道路について、交通の隘路の解消や防災対策、橋梁耐震等を推進（R4.7月全線開通）

まちづくり連携道路整備事業～防災のまちづくり～

まちづくり連携道路

津波により浸水した道路について、市町村の復興まちづくりと一体となった整備を推進（R4.4月全線開通）

復興道路の主な整備効果

都市間の移動時間が大幅に短縮されました！

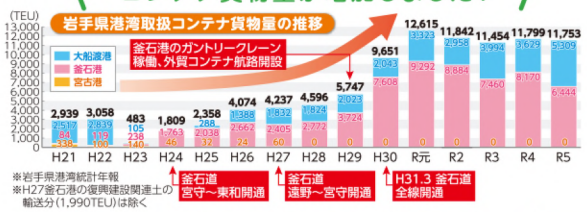


震災前と比較しなんと…

- 仙台市～八戸市　約3時間20分 短縮！
- 宮古市～盛岡市　約35分 短縮！
- 釜石市～花巻市　約30分 短縮！

※仙台～八戸間、宮古～盛岡間、釜石～花巻間は各市役所間の所要時間を記載。
その他の区間は、各市役所最寄りのIC・JCT間の所要時間を記載。

コンテナ貨物量が増加しました！

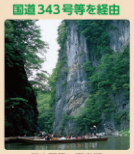


※岩手県港湾統計年報
※H27釜石港の復興建設関連土の輸送分（1,990TEU）は除く

クルーズ船の寄港が増えています！



クルーズ船のオプショナルツアー例

奇跡の一本松から震災を学ぶ三陸の旅	みちのく旅 ～平泉中尊寺と脱鼻渓下り～
（宮古港▶陸前高田市）三陸沿岸道路等を経由	（大船渡港▶一関市）国道343号等を経由
	
奇跡の一本松	日本百景・脱鼻渓

エピソード

東日本大震災津波で道路が果たした役割

「釜石の出来事」～子どもたちを救った「命の道」～

地震発生後直ちに避難を開始した釜石市の鵜住居小学校、釜石東中学校両校の児童・生徒らは、約1週間前に開通した三陸沿岸道路を使うことにより、旧釜石第一中学校へ無事に避難することができました。この道路は、通行不能となった国道45号の迂回路として機能し、避難路のみならず、地域の孤立解消を図る、まさに「命の道」としての役割を果たしました。



小中学校の児童・生徒たちの避難経路と浸水区域（H23.3）



一般国道45号 鵜住居地区付近



三陸縦貫自動車道（釜石山田道路）H23.3.5開通

写真提供：三陸国道事務所